

関節エコーハンズオンセミナー

スキルアップコース
ビギナーコース

スキルアップコース

関節リウマチの診療においては、手指や手関節・足趾といった小関節以外にも肩関節などの大関節に症状がみられることは多々あります。特に高齢者の肩関節痛などは腱板断裂などの変性疾患との鑑別も重要になってきます。しかし、肩関節は解剖学的な構造が複雑で理解が難しいため、エコーの撮像手技に自信がない方も多いのではないのでしょうか。スキルアップコースでは、手指や手関節などの撮像がある程度できる方を対象に、撮像の比較的難しい肩関節や足関節を中心にハンズオンセミナーを行います。

また、近年では乾癬性関節炎や脊椎関節炎と関節リウマチの鑑別もエコーを用いることの有用性が高まっており、関節エコーでの付着部炎の撮像手技も重要な手技となっています。さらにエコーガイド下関節注射についても習得できれば診療の幅が非常に広がります。スキルアップコースでは付着部炎の撮像手技および関節穿刺の実際についても行っていききたいと思います。エコーが上手になりたい人は是非参加してください！

スキルアップコース講師（予定）

医師	三崎健太	北播磨医療センター
医師	和田誠	京都府立医科大学
医師	原良太	奈良県立医科大学
医師	岡野匡志	大阪公立大学
医師	真本建司	大阪公立大学
医師	山田祐太郎	大阪公立大学
医師	野崎祐史	近畿大学
医師	田淵裕也	京都大学
医師	中林晃彦	国立病院機構 大阪南医療センター
医師	辻聡一郎	辻内科医院
医師	山田啓貴	神戸大学
医師	千藤荘	神戸大学

ビギナーコース

関節エコー検査は現在の関節リウマチ診療において必須のツールとなっています。患者さんの関節を実際に触って腫れや痛みを診察することはもちろん重要ですが、実際にエコーでの滑膜炎の活動性を合わせて評価することで、よりの確な診療ができます。しかし、関節エコー検査は、機器の設定や検者の撮像技術によってその結果が変わる可能性のある検査であることも事実であり、適切な撮像技術を習得することはとても重要です。コロナ禍で関節エコーのハンズオンセミナーは激減していた状況を鑑み、今回本学会にてハンズオンセミナーを開催させていただきます。

ビギナーコースでは関節エコーのポテンシャルを最大限に引き出すために重要な、プローブの周波数やグレースケールおよびパワードプラのゲインやフォーカスなどといったエコーの基本的な設定についての理解と関節リウマチで必須となる手指・手関節・足趾などの小関節を中心とした撮像手技の習得を目的として行います。医師のみならず看護師・技師のみなさんにご参加いただけますと幸いです。未経験者大歓迎です。是非ご参加ください！

ビギナーコース講師（予定）

医師	岡野匡志	大阪公立大学
医師	原良太	奈良県立医科大学
医師	真本建司	大阪公立大学
医師	吉川紋佳	大阪医科薬科大学
医師	石川那智	第二警察病院
医師	渡邊あかね	大阪大学
看護師	岡田めぐみ	しんとう整形外科リウマチクリニック
看護師	野口郁代	おだ整形外科リウマチクリニック
技師	鷺田伸吾	大阪公立大学 中央臨床検査
技師	矢上亜沙美	大阪公立大学 中央臨床検査
技師	堂前有加	大阪公立大学 中央臨床検査
技師	坂岡智香	大東中央病院 検査部